



原初河川、ボー川でのカヌー体験



新鮮な魚を体験



地元食材を使った昼食を提供

北海道・標津

【起床の自然環境・産人々の暮らしに触れる教育の発生を分析し、その業・食・平和学習・歴史・文化】世界自然遺産として知られる。標津町の中心部にあり、海、山川、大平原のあらかゆる資源に囲まれ、1万年前の縄文時代から暮らし続けている。標津町の歴史は、縄文時代の遺跡が数多く残る。また、太平洋戦争の最中、標津町は軍需工場が建設され、多くの労働者が移住した。この歴史を伝えるために、標津町では「食への理解を深める」をテーマとした体験型学習を実施している。

北方領土の平和学習と 鮭に支えられた暮らしに学ぶ

【平和学習 北方領土】「食への理解を深める」をテーマとした体験型学習。この学習では、鮭の養殖や加工の様子を見学し、地元食材を使った昼食を堪能する。また、北方領土の歴史や現状についても学び、平和学習の一環として実施されている。



北方領土の講話

【日本遺産 鮭の聖地】標津町は、鮭の産地として知られており、鮭の養殖や加工の様子を見学し、地元食材を使った昼食を堪能する。また、鮭の歴史や文化についても学び、平和学習の一環として実施されている。

〒086-1653 北海道標津郡標津町南3条5丁目1-6 TEL 0153-85-7226 FAX 0153-85-7227 URL https://www.visitshibetsu.com/

オピニオン

農山漁村へ

行動規制がない、夏休みが終わり、お盆の帰省や、規模縮小や制限がありながらも祭りやイベントも実施された。そして、新型コロナウイルスの感染者数は最高を更新し続けてきた。8月24日、総理は逼迫する医療現場や保健所の事務処理の軽減を狙い、感染者の全数把握を行わないことにすると発言した。新しいコロナとの付き合い方が始まったと言える。

今年の夏は北陸、北東北、北海道などで線状降水帯が相次いで発生するなど記録的な豪雨が続き、河川の氾濫は50河川を超え、家屋や道路、そして農作物にも甚大な被害をもたらした。一方で首都圏では猛暑日が続き、熱中症で救急搬送された人もお盆前の1週間だけで約6000人にも上っている。消防署や医療機関は新型コロナウイルスと重なって厳しい状況が続いている。世界経済フォーラムの気象変動の問題への対応は117カ国中、日本は107位と遅れていることを示している。いよいよ、地球環境問題や自然災害、気象変動に無関心ではいられない。つまりは、それぞれの立場でSDGsに取り組みなければならぬ。

1人か一部のエゴで始まったと思えるロシアのウクライナ侵襲から7カ月が過ぎ、戦争の犠牲者は子どもや女性など非戦闘員も増え続けている。一刻も早い収束を願わずにはいられない。日本は戦後77年目の夏を迎えた。戦争の体験者が減少し、直接話を聞く機会もなくなりつつある。日本の近海でもミサイル発射や軍事訓練など緊張は高まり、きな臭さを感じ不安もよぎる。国内では渋谷区で親子が刺された事件の容疑者はまさかの中学3年の少女であった。事件の動機や背景にも大

きな関心を持たなければならぬ。過去の過ちに学び、進化すべき人類が道徳的にも、懸念するような出来事が起こり続けている。より一層、平和と命の尊さについて考える教育機会も大切である。

新型コロナウイルスも2類相当から5類への移行を模索されているが、新型コロナウイルスを想定していない分類が求められる。2020年に認可された抗原検査は空港検査もスポーツイベントで幅広く活用されつつある。ここに来て、通販や薬局での販売も検討され、かなり浸透し一般化されつつある。検査して陽性の生徒が分かるのかというところは世の中の動きに逆行している。現在の状況を受け止めての対応策が必要になる。

コロナ禍での教育民泊を実現するためには、生徒と受け入れ家庭、双方の安心・安全が不可欠であることから、双方が抗原検査で前日または当日の陰性を確認して実施することで動きだしている。教育効果が高く、SDGsプログラムの宝庫である教育民泊を含む農山漁村体験が人気である。当紙に掲載されている受け入れ地域では、事前学習、現場体験学習、事後学習の流れを探究学習の手法で行うSDGsプログラムを整備している。教育民泊と合わせて、コロナ禍から後を見据えた求められる教育現場であると確信している。

全国ほんもの体験ネットワーク会長 / 全国教育民泊協会会長 / 株式会社体験教育企画代表取締役 藤澤安良

新しい教育旅行の時代を

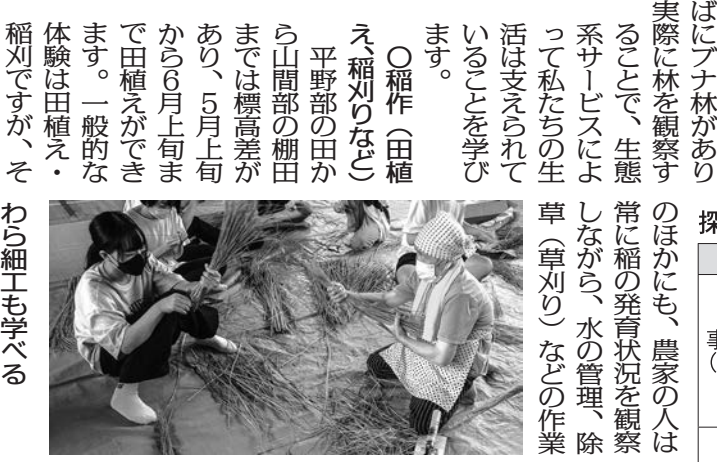


信濃川ラフティングに挑戦

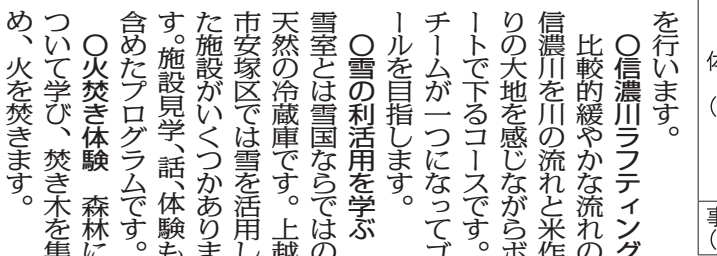
信濃川ラフティングに挑戦。自然・農・漁・漁の魅力を体験し、仲間や現地の人の気持ちは感じることができ、心に残る思い出を作ることができます。



田植えの体験



稲刈りの体験



焚き火の体験

新潟県・上越市・十日町市

上越市と十日町市は、海、平野、山のさまざまな環境があります。特に、中山間地は豪雪地帯で3日を超える地域で私たちが暮らしています。人々の越後で体験していただくには、雪と自然(雪と自然)をテーマとした体験型学習を実施しています。

「自分探しの越後の旅」 越後田舎体験で探究学習

区分	場所	内容
事前学習(旅マエ)	学校	○オンライン授業(授業1コマ) →講師による講話、現地様子紹介(写真、映像等)、質疑応答
	学校	○テーマの設定 ○地域調べ(特色、課題等) →学習の目標、ねらいの設定
体験(旅中)	現地	○現地探究、地域を知る(2~3時間) →施設、地域環境等の見学 ○講師による講話、質疑応答(1~2時間) →施設、地域環境等の見学 ○体験プログラム(2~3時間×2程度) ○体験プログラム(1~2時間) ○振り返り(1~2時間) →グループを分けてワークショップなど ○宿泊 →いろいろなタイプの宿、だから面白い
	学校	○感想、まとめの発表など
	事後学習(旅アト)	

〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚722-3 雪だるま財団内 TEL 025-592-3988/FAX 025-592-3324 URL http://www.echigo-inakataiken.jp/ E-mail taiken@yukidaruma.or.jp

越後田舎体験推進協議会 通常営業時間 8:30~17:30(月~金、祭日・年末年始等休み) ※時間外でも電話しててください



人気のサップ船アドベンチャーズ



体験の拠点「机浜番屋群」



潮騒の宿「ホテル羅賓荘」

岩手県・田野畑村

岩手県沿岸部に位置する田野畑村は、人口約3100人の農山漁村で、農業、林業、観光と多岐にわたる産業と人々の営み、そして三陸復興国立公園に指定されている海岸線には、高さ200m前後の断崖が約80mにわたって続く。断崖の雄姿は、弓矢にえぐられた200m前後の断崖が、5列に連なる。断崖の雄姿は、弓矢にえぐられた200m前後の断崖が、5列に連なる。断崖の雄姿は、弓矢にえぐられた200m前後の断崖が、5列に連なる。

三陸復興国立公園 大震災の伝承と大自然



「大津波語り部」から生きる力を学ぶ

〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10 北山崎ビジターセンター内 TEL 0194-37-1211 FAX 0194-33-3355 E-mail taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp URL https://www.tanohata-taiken.jp/

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク 担当 楠田・赤坂 ※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、民泊の受け入れを停止しています(9月5日時点)。